

児童・生徒数の推計方法

毎年5月1日現在の市立学校在籍数を基礎数値として、児童・生徒数を学校別に推計した東京都作成の「教育人口等推計資料（学校別推計表）」を基に、向こう3年間の推移を示している。新入学児童数は、毎年4月1日現在の学区域別の年齢別幼児数を基に推計されるが、当該年度の学区域別の入学率（学区域別の就学予定者のうち、実際に当該学区に入学した者の割合）が3年後まで変わらずに用いられていることから、令和5年度の入学率が令和6年度以降の児童数の推移に大きく影響する。なお、本推計値には、特別支援学級の児童・生徒数は含まれていない。

学級数の推計方法

学級数は、児童・生徒数の推計を基に、学校別・学年別に必要学級数を算出している。令和3年3月に「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」が改正され、一学級の児童・生徒数は、小学校においては、令和7年4月までに、段階的に全学年を35人学級とすることとなった（令和6年4月は、1～5年生35人、6年生40人）。中学校においては、1年生は中1ギャップ解消加配のため35人、2・3年生は現行基準のとおり40人。なお、児童・生徒数は住所変更や指定校変更などによる変化を考慮し、令和6年度以降の学級数は、各学年1～4人増加する場合を想定して算出している。

市立小学校の推計

(1) 小学校の推計結果の概要

- 児童数のピークは令和5年度であり、その後減少する。令和8年度までの3年間で児童数300人以上が減少する見込み。
- 学級数のピークは令和7年度で、令和5年度と比較すると26学級増加の見込み。

(2) 要因

- 令和5年4月1日時点の小学校の学齢人口（6歳～11歳）は12,138人、未就学人口（0歳～5歳）10,779人である。令和3年度以降、未就学人口が学齢人口を下回っており、その差は年々拡大しているため、令和5年度以降の減少に反映されたと推測される。
- 学級数は、法改正により、令和7年度までに段階的に全学年35人学級となるため、令和7年度までは増加見込みだが、児童数の減少により令和8年度は減少に転ずる見込み。

(3) 注視する個別の小学校の状況

- 教室確保困難学区域に指定されている第一小・八雲台小・富士見台小・滝坂小・石原小・若葉小・緑ヶ丘小は今後も注視していく必要がある。その中で、第一小・富士見台小・緑ヶ丘小については、令和5年度と比較して、令和8年度までに最大3学級増加する見込み。



小学校別の推計 (令和6年度から令和8年度まで)

年度 学校名	児童数					学級数					5年度と6年度～8年度 までの推計の比較
	5年度 (実数)	6年度 (推計)	7年度 (推計)	8年度 (推計)	増減 8年度-5年度	5年度 (実数)	6年度 (推計)	7年度 (推計)	8年度 (推計)		
第一	694	701	715	751	57	23	24	25	26	↑↑↑	3
第二	472	470	455	447	▲25	16	17	17	17	↑	1
第三	567	574	564	576	9	17	18	18	18	↑	1
八雲台	476	484	505	515	39	16	17	18	18	↑↑	2
富士見台	509	539	566	567	58	17	19	20	20	↑↑↑	3
滝坂	549	586	568	555	6	17	19	19	19	↑↑	2
深大寺	511	497	478	439	▲72	17	17	17	16	↓	▲1
上ノ原	907	866	847	814	▲93	27	28	28	27	↑	1
石原	561	565	543	526	▲35	17	19	19	19	↑↑	2
若葉	905	902	880	830	▲75	27	28	28	27	↑	1
緑ヶ丘	451	490	523	544	93	16	18	19	19	↑↑↑	3
染地	179	167	170	201	22	7	8	8	10	↑↑↑	3
北ノ台	806	805	824	822	16	25	26	27	27	↑↑	2
多摩川	698	698	673	625	▲73	22	23	23	22	↑	1
杉森	690	674	656	640	▲50	21	22	22	22	↑	1
飛田給	381	369	376	370	▲11	12	13	14	14	↑↑	2
柏野	592	569	557	532	▲60	20	20	20	19	↓	▲1
国領	360	347	306	293	▲67	13	13	12	12	↓	▲1
布田	478	461	433	416	▲62	16	17	17	16	↑	1
調和	651	639	610	616	▲35	20	21	21	22	↑↑	2
小学校計	11,437	11,403	11,249	11,079	▲358	366	387	392	390	—	—

網掛けの児童数・学級数は、令和5年度から令和8年度までの最大値を示している。
青枠は令和5年度と令和6年度から令和8年度までの最大値の比較、または、令和5年度が最大値の場合は令和6年度から令和8年度までの最小値(※)と比較し、その増減数を↑⇔↓の数で示している。

市立中学校の推計

(1) 中学校の推計結果の概要

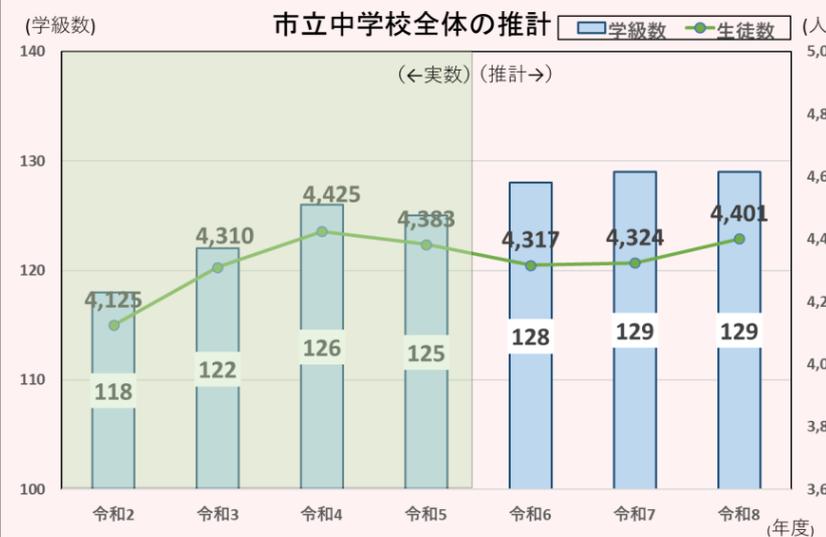
- 生徒数は令和6年度に減少し、その後は増加の見込み。
- 学級数は令和6年度に3学級増加し、その後は大きな変化はない見込み。

(2) 要因

- 令和5年度までに児童数が増加した小学校区から、学年進行により中学校に移行するため、令和7・8年度は増加していくと推測される。
- 中学校は私立中学への就学や学校選択制により学区域外に就学する場合もあり、小学校の傾向とは異なる場合がある。

(3) 注視する個別の中学校の状況

- 第三中の学級数は、令和5年度と比較して、令和8年度までに2学級増加する見込み。
- 調布中・第五中・第六中・第七中の学級数は、令和5年度と比較して、令和8年度までに最大1学級増加する見込み。



中学校別の推計 (令和6年度から令和8年度まで)

年度 学校名	生徒数					学級数					5年度と6年度～8年度 までの推計の比較
	5年度 (実数)	6年度 (推計)	7年度 (推計)	8年度 (推計)	増減 8年度-5年度	5年度 (実数)	6年度 (推計)	7年度 (推計)	8年度 (推計)		
調布	588	569	548	568	▲20	16	17	16	17	↑	1
神代	915	897	884	864	▲51	25	25	25	24	↓	▲1
第三	622	604	628	643	21	17	18	19	19	↑↑	2
第四	358	348	340	353	▲5	11	11	11	11	⇔	0
第五	737	756	791	806	69	21	22	22	22	↑	1
第六	393	395	406	406	13	12	12	13	12	↑	1
第七	432	409	392	404	▲28	12	12	12	13	↑	1
第八	338	339	335	357	19	11	11	11	11	⇔	0
中学校計	4,383	4,317	4,324	4,401	18	125	128	129	129	—	—

網掛けの生徒数・学級数は、令和5年度から令和8年度までの最大値を示している。
赤枠は令和5年度と令和6年度から令和8年度までの最大値の比較、または、令和5年度が最大値の場合は令和6年度から令和8年度までの最小値(※)と比較し、その増減数を↑⇔↓の数で示している。